

# 流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） の予防接種を受けられる方へ

## 1. おたふくかぜについて

おたふくかぜは、流行性耳下腺炎あるいはムンプスとも呼ばれ、ムンプスウイルスによる感染症です。患者の唾液が感染源となり、咳やくしゃみ等の飛沫感染や接触感染で感染します。感染期間は明らかな症状を示す6日前頃からその後約10日程です。

潜伏期間は2～3週間で、耳下腺・顎下腺・舌下腺等の唾液腺の腫張と圧痛（片側または両側）を主症状として発症します。発熱は1～6日ほど続きます。症状は、通常5～7日で回復に向かいます。

合併症は、発熱・頭痛・嘔吐の「無菌性髄膜炎」、ムンプス難聴、発熱持続・けいれん・意識障害の「脳炎」、精巣炎、卵巣炎、膵炎などが報告されています。思春期以降の人が初めてムンプスウイルスに感染すると、精巣炎や卵巣炎の合併頻度が高くなるといわれています。精巣炎の合併症による不妊症の原因となるのは稀です。

## 2. 他のワクチンとの接種間隔

厚生労働省はこれまで、異なる種類のワクチンを接種する場合、一定の日数を空ける接種間隔を規定していました。この度、この規定が見直され、注射生ワクチン同士を接種する場合以外は、接種間隔の制限を撤廃することになりました。令和2年10月1日以降適応されます。一方、同一ワクチンの接種間隔は従来どおりになりますのでご注意ください。

## 3. 次の方は接種を受けないで下さい

- ① 妊娠している方および妊娠している可能性のある方（接種前1ヶ月間は要避妊）は接種することができません。ワクチン接種後は少なくとも2ヶ月間の避妊が必要です。
- ② ワクチンを受ける3ヶ月以内に輸血やガンマグロブリン製剤の投与を受けたことがある方、また6ヶ月以内にガンマグロブリン製剤の大量療法（200mg/kg以上）を受けたことがある方は、免疫が十分にできませんので、接種を延期する必要があります。接種について主治医とご相談下さい。
- ③ 明らかに発熱している方
- ④ 重い急性疾患にかかっている方
- ⑤ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する方、免疫抑制をきたす治療を受けている方
- ⑥ おたふくかぜワクチンに含まれる成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方  
＜アナフィラキシー反応とは＞  
急激に起こる「じんましん、口腔や咽頭のアレルギー性腫脹、喘鳴、呼吸障害、血圧低下」等のショック症状
- ⑦ おたふくかぜワクチンを受ける27日以内に他の生ワクチン（注射剤）を接種した方は、免疫が十分にできませんので、接種を延期する必要があります。あらかじめ健康センターへご連絡ください。
- ⑧ その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある方  
(予診の結果、接種が不適当と考えられる場合は中止することがあります。)

#### 4. 次の方は接種前医師にご相談下さい

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱があった方及び全身性発疹などのアレルギーを疑う症状があった方
- ③ 過去にけいれんの既往のある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ おたふくかぜワクチンに含まれる成分に対してアレルギーを起こす恐れのある方

#### 5. おたふくかぜワクチンの接種スケジュール

1回0.5mlを皮下に注射します。

ワクチンを接種することによって90%以上の方が免疫を獲得します。しかし免疫の持続は、免疫の状況や周囲の流行の程度で異なります。

#### 6. 接種後の副反応

接種後30分以内に「ショック、アナフィラキシー（じんましん、口腔や咽頭のアレルギー性腫脹、喘鳴、呼吸障害、血圧低下等）」（0.1%未満）があらわれることがあります。

また接種後3週間前後に「無菌性髄膜炎」（0.1%未満）、紫斑（皮膚や粘膜にできる紫色の斑点）・鼻出血・口腔粘膜の出血等の「血小板減少性紫斑病」（100万人に1人程度）、特に思春期以降の男性にみられる「精巣炎」（0.1%未満）、2週間程度で発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等の「急性散在性脳脊髄炎（ADEM）」（頻度不明）があらわれることがあります。その他、脳炎・脳症（頻度不明）、難聴（0.1%未満）、「急性膵炎（腹痛、発熱、嘔気、嘔吐）」（頻度不明）があらわれることがあり、これら重大な副反応が出た際は、医師にご相談下さい。

その他、接種直後から数日中に発疹、じんましん、掻痒、発熱、紅斑（赤い斑点）等の過敏症（0.1%未満）があらわれることがあります。また接種後2～3週間頃に発熱、耳下腺腫脹、嘔吐、咳、鼻汁等の全身症状、接種部位に発赤、腫脹、疼痛があらわれることがありますが（頻度不明）、一過性で2～3日中に消失します。

#### 7. 接種後の注意

- ① 接種当日は過激な運動を避け、接種部位を清潔に保ちます。  
（入浴は可能ですが、注射部位を強くこすらないようにしましょう。）
- ② 接種後（直後～14日間）は健康状態に留意して下さい。局所の異常反応や異常な症状（高熱、けいれん等）を呈した場合は下記までご連絡下さい。
- ③ 妊娠可能な女性については、接種後2ヶ月間は避妊して下さい。